

## PROGRAM

プログラム

## PROGRAM NOTES

解説

文:安達 真理・佐藤 卓史

### 加藤昌則:未在の庭

Masanori Kato : Inexistant Gardens(2016)

### 加藤昌則:《落葉》

Masanori Kato : Ochiba(1994/2021)

### ダウランド:《リュート歌曲集第1巻》より「もしぼくの嘆きが」

John Dowland : If my complains could passions move

### ブリテン:ラクリメ〜ダウランドの歌曲の投影 作品48

Benjamin Britten : Lachrymae op.48 Reflections on a Song of John Dowland

### ブリッジ:3つの歌

Frank Bridge : 3 songs

1. 遠く、遠く、お互いから Far, far from each other
2. 私たちの魂はどこへ行くのか Where is it that our soul doth go?
3. 音楽、その優しい声が消えても Music, when soft voices die

— 休憩 —

### マーラー:リュッケルトの詩による5つの歌曲

Gustav Mahler : 5 Lieder nach Rückert

1. 美しさゆえに愛するのなら Liebst du um Schönheit
2. 私の歌を覗き見しないで Blicke mir nicht in die Lieder!
3. 私はほのかな香りを吸い込む Ich atmet einen linden Duft
4. 真夜中に Um Mitternacht
5. 私はこの世に捨てられて Ich bin der Welt abhanden gekommen

### ヒンデミット:葬送音楽

Paul Hindemith : Trauermusik

### ブラームス:間奏曲 ロ短調 作品119-1

Johannes Brahms : Intermezzo h-moll op.119-1

### ブラームス:2つの歌 作品91

Brahms : 2 Gesänge op.91

1. 鎮められた憧れ Gestillte Sehnsucht
2. 聖なる子守歌 Geistliches Wiegenlied

### 加藤昌則:未在の庭

作曲・編曲にとどまらずピアニスト・ラジオDJ・プロデューサーなど八面六臂の活躍の加藤昌則さん。ヴィオラとピアノのための「未在の庭」は2016年に作曲された小品です。「今でこそ穏やかな古寺の庭園の光景も、その昔は決闘があったり、逢引の二人がいたり、長い月日の間に、様々な出来事がその空間には起こり、記憶されているはずだ。様々な時代の瞬間の記憶が、フラッシュバックされるみたいに空間に蘇ったら、そんなイメージが発想の根幹にある。」と作曲者本人が解説しています。

### 加藤昌則:《落葉》

加藤さんご本人からコメントを寄せていただきました。

「1994年に作曲。大学時代の習作を除けば最初の歌曲です。千家元麿という詩人は一般的に知られた人ではないかもしれませんが、事実僕が出会ったのも、ある本に所収されていたからでした。その本には様々な作者の詩が掲載されていましたが、この詩はとても映像的であり、形容もファンタジックで、何となく音楽的なのではと思ったのが、選択した理由でした。ゆっくりと葉の上を歩む姿、空からひらりと落ち葉が舞い落ちる情景、ブラックな背景の中で幻想的な映像を音にできないか!?それが僕のテーマで、結果、僕の音楽における映像的なスタンスを形作るきっかけにもなった気がしています。歌とピアノで書かれましたが、そこにヴァイオリンのオブリガード(この場合は任意で付加される楽器や旋律の意)を加えたものを、さらにヴィオラ用書き直したものです。張り詰めた空気や、歌に絡むもう一つの旋律が、オブリガードと言えども、オリジナルとは違う雰囲気醸し出すことと思います。」

### ダウランド:《リュート歌曲集第1巻》より「もしぼくの嘆きが」

イングランドの宮廷リュート奏者を務めたジョン・ダウランドは世俗的でメランコリックな歌曲を多く残しました。ダウランド自身が書いたといわれる歌詞は、まさにエリザベス朝様式の難しい英語ですが、この曲では「もし僕の嘆きが愛する人の心を動かせるなら、十分なほどに自分は嘆いているのに」と吐くぬ愛を歌っています。

### ブリテン:ラクリメ〜ダウランドの歌曲の投影 作品48

ダウランドやパーセルの黄金期のあと、イギリス音楽界は2世紀にわたる不毛の時代を経て、エルガーの登場によってようやく復興されます。20世紀イギリスを代表する作曲家ベンジャミン・ブリテンは伝統を重んじる保守派で、パーセルの主題に基づく変奏曲『青少年のための管弦楽入門』で一般に知られていますが、1950年作曲の「ラクリメ」ではもうひとりの巨匠ダウランドに光を当てています。「ラクリメ」とはダウランドの有名曲『流れよ、わが涙』の通称ですが、その旋律は部分的に登場するのみで、実質的には『もし僕の嘆きが』の主題による変奏曲となっており、ブリテン独特の音楽語法が随所にちりばめられています。最晩年の1976年には自ら弦楽合奏版に編曲されました。

## ブリッジ:3つの歌

10歳のブリテンの才能を見抜き、作曲の基礎を教えた孤高の作曲家フランク・ブリッジ。「3つの歌」は27歳のときの作品で、本人が演奏を得意としていたヴィオラのオブリガートを伴った珍しい編成の歌曲です。詩はそれぞれアーノルド、ハイネ、シェリーと、1曲ごとに異なる詩人によるものです。

### 1. Far, far from each other

悲劇的な前奏に続いて「私たちの魂は遠く羽ばたいて離れてしまった」と別れの辛さを歌い、風や自然の雄大さ、暁に救いを求めます。

### 2. Where is it that our soul doth go?

「私たちの命が突然終わってしまったら、何処へ行くのか。」「火が消えたら、風が消えたら、いったい何処へ行くのか。」哲学的な問いにヴィオラが答えますが、そこには言葉はありません。

### 3. Music, when soft voices die

豎琴のようなピアノの分散和音に乗って「音楽やすみれの香りは消えても、記憶や感覚に残るものだ」と歌い、「愛する人のベッドのバラは花が枯れても積まれたまま、そして、あなたの想い、愛そのものは、あなたがいなくなってもそこにまどろんでいるだろう」と締めくくられます。

## マーラー:リュッケルトの詩による5つの歌曲

1901年の夏、オーストリア南部で休暇を過ごしていたマーラーは、湖畔の作曲小屋でリュッケルトの詩による歌曲4曲を作曲。秋に18歳年下のアルマと出会い、12月に婚約を発表、翌1902年3月9日に結婚します。その年の夏に「美しさゆえに愛するのなら」が書かれました。本日は以下の曲順で演奏します。

### 1. 美しさゆえに愛するのなら

「美貌ゆえ、若さゆえ、財産ゆえではなく、愛ゆえに私を愛してくれるのであれば、いつでも私を愛して。私もいつまでもあなたを愛します」と濃厚に愛を歌います。

### 2. 私の歌を覗き見しないで

「歌を書いている途中で覗き見しないで」と、その様子を蜂の巣作りに喩えながら、「蜜たっぶりの巣が出来上がったら誰よりも先に味見させてあげるから」とコケティッシュに訴えます。

### 3. 私はほのかな香りを吸い込む

愛する人が手折って贈ってくれた菩提樹の小枝、そのやさしい香りに静かに満たされます。

### 4. 真夜中に

「真夜中に目が覚めてしまい天を仰ぐけれど、星ひとつとして自分に微笑みかけてはくれない」と孤独感、不安、苦悩、悲しみを夜空に訴えかけます。しかし最後には、「自らをその御手に委ねた、生と死を司る主が見守ってくださる」と高らかに歌い上げます。

### 5. 私はこの世に捨てられて

「自分はこの世から消えてしまった」と諦観の中で死を受け入れ、「今は世の喧騒から遠く離れ、ひとり天国という静かなる地で、愛と歌に包まれ安らいでいる」と歌います。

## ヒンデミット:葬送音楽

自作の「白鳥を焼く男」を演奏するためにロンドンに滞在していたヒンデミットが、国王ジョージ5世の訃報を受け、急遽6時間で書き上げBBC交響楽団と共に演奏した作品。最後にバッハのコラールが引用されており、その慎ましく敬虔な祈りに包まれて曲が閉じられます。

## ブラームス:間奏曲 口短調 作品119-1

ブラームス最後のピアノ曲集、「4つの小品」作品119の冒頭曲。クララ・シューマンへの手紙の中で「あなたのための小品」と述べています。3度音程を下方向に沈殿するように積み重ねる手法が、時間が巻き戻るような不思議なハーモニーを生み出し、深く悲しみに沈むようなエモーショナルな効果をもたらします。

## ブラームス:2つの歌 作品91

友人のヴァイオリニスト、ヨーゼフ・ヨアヒムの第一子誕生を祝って、まず第2曲「聖なる子守歌」が書かれました。歌詞はスペインの詩人によるもので、冷たい風が吹き付ける中、眠りにつく幼児イエス・キリストを守ろうと天使たちに願う母マリアの姿が描かれています。

第1曲「静められた憧れ」はその約20年後、ヨアヒム夫妻の不仲を修復したいという想いから作曲されたといわれます。詩はリュッケルト。黄金の夕べの光に包まれ厳かに佇む森の中、聞こえてくる風や鳥は、眠りの世界を囁いています。憧れに突き動かされていた若き日々の衝動を思い出したあと、人生を達観し、時の流れを慈しむように穏やかさをもって曲が閉じられます。

## PROFILE

プロフィール



### 藤木 大地 Daichi Fujiki, Countertenor

公式サイト [www.daichifujiki.com](http://www.daichifujiki.com)

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルドでデビュー。2020年、新国立劇場2020/21シーズン開幕公演プリテン『夏の夜の夢』オーベロン、BCJとのヘンデル『リナルド』タイトルロールで絶賛を博し、オペラ歌手としての人気を不動のものにする。バロックからコンテンポラリーまで幅広いレパートリーで活動を展開し、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとり。洗足学園音楽大学客員教授。横浜みなとみらいホール プロデューサー 2021-2023。



### 安達 真理 Mari Adachi, Viola

公式サイト [www.mariadachi.com](http://www.mariadachi.com)

国内外で研鑽を積み、2013年からインスブルック響にて副首席奏者を2年間務め、バンベルク響に客演したこともある。2016年よりP.ヤルヴィ氏率いるエストニア祝祭管に参加。テレビ朝日『題名のない音楽会』等のメディア出演ほか、2019年には熊本城ホール開業記念公演で坂本龍一氏とピアノ・トリオを演奏。現在東京を拠点にソリスト、室内楽奏者として幅広く活動。2021年4月に日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ客演首席奏者就任。同年CD『J.S. バッハ組曲&パルティータ』をリリース。



### 佐藤 卓史 Takashi Sato, Piano

公式サイト [www.takashi-sato.jp](http://www.takashi-sato.jp)

2001年日本音楽コンクール、2007年シュューベルト国際コンクール、2011年カントウ国際コンクールで第1位、他入賞多数。内外のオーケストラに客演の傍ら、室内楽奏者としても世界的に活躍している。東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ハノーファー音楽大学、ウィーン国立音楽大学で研鑽を積んだ。2014年よりシュューベルトのピアノ曲全曲演奏会「佐藤卓史シュューベルトツィクルス」を展開中。近年は作編曲、執筆、レクチャーなど活動の場を広げている。



宗次ホールオフィシャルホームページ

<http://www.munetsuguhall.com>

開催コンサート情報・ホールの営業時間の他  
変更・中止の場合もホームページにて発表！

急な変更・中止等のお知らせは各SNSでも発表いたします。  
ご来場の際は、最新の情報をご確認の上、お越してください。



当日券情報・アンコール曲など



今月の発売開始・公演情報など



リハーサル風景・演奏家情報など



宗次ホールチケットセンター TEL 052-265-1718 (10:00~16:00 不定休)

### お互いに気持ちよく演奏を楽しむために

コンサート来場時のマナーと共に、感染拡大対策へのご協力をお願いします

- ★携帯電話の電源OFF (マナーモードもNG)。
- ★拍手は、1曲全てが完全に終わるまでお待ち下さい。余韻を大切に。
- ★演奏中の物音にご配慮を。
- ・ホール館内では正しくマスクを着用してください。
- ・手指および消毒マットによる靴底の消毒にご協力をお願いいたします。
- ・熱のある方 (37.5℃以上目安)、体調に不安のある方は来場を控えてください。
- ・開場時の玄関先や、お手洗いでのご整列の際には、間隔を空けてお並びください。
- ・ドリンクコーナーの営業は中止いたします。
- ・ブラボーの掛け声、お客様同士の大声での会話は厳に謹んでください。
- ・終演後は押し合わず、ドア付近の方からゆっくりとご退場ください。
- ・サイン会は中止、演奏者との終演後の面会時間も設けません。

鑑賞中に体調に異変を感じた場合は、演奏中でも遠慮なく最寄のドアからご退出ください。  
お近くのお客様のご理解・ご協力をお願いいたします。



藤木大地

Counter tenor Daichi Fujiki



安達真理

Viola Mari Adachi



佐藤卓史

Piano Takashi Sato

# 聖なる子守唄

*Geistliches Wiegenlied*

2022年2月23日(水・祝) 14:00開演

主催:宗次ホール